



定例会最終日の3月22日、議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論が、3月2日と22日に議案の採決が行われました。

## 市長提出議案に対する討論

### 賛成の立場で

#### 〈創風〉

コロナ禍における地域経済の実情に合わせた経済支援の拡充をはじめ、担い手確保や働く場の創出に分野横断的に取り組むこと、行政事務のデジタル化に対応した情報システム環境の構築による「新たな日常」に対応した改革などを評価するとともに、当市の総合力が高まることを期待し、全議案に賛成する。

#### 〈公明党〉

新型コロナウイルス感染症対策と経済対策の両立が求められる中、万全なワクチン接種体制の確立や拡充された経済対策を高く評価する。若者等の多様な雇用の創出に向けた取組や「(仮称)直江津アートプロジェクト」による交流人口の拡大などによる当市の持続的発展を期待し、全議案に賛成する。

#### 〈みらい〉

第6次行政改革の取組と第2次行財政改革に基づく計画的な行政運営を推進し、すこやかなまちづくりを着実に進める姿勢を評価する。新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、市民の安心・安全や地域経済への支援に取り組む予算編成であることから、いずれも適正であることと判断し、全議案に賛成する。

#### 〈輝〉

新型コロナウイルス感染症への対応と「新たな日常」を見据えた市民生活及び地域経済支援をはじめ、人口減少対策やまちの活性化、若者等の定住・UI-Jターンの促進に向けた取組など、目の前の課題に対応し、将来にまちをつないでいく想いが込められた予算編成であると評価し、全議案に賛成する。

### 反対の立場で

#### 〈日本共産党議員団〉

住宅リフォーム促進事業の拡充や店舗リニューアル助成の継続などは評価するが、コロナ禍への対応に必要な施策が不十分であることや介護保険料の引上げ、市が責任を持つて行うべき学校給食調理業務の民間委託の拡大などが問題と考えることから、令和3年度一般会計予算をはじめ、5議案に反対する。



## 請願を不採択

■「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願

請願は、市民等が議会に対し、意見や要望を直接伝えるものです。今定例会では、1件の請願が提出されました。採決を前に、日本共産党議員団が賛成討論を行い、賛成少数で不採択となりました。

詳細は、下のQRコードから該当ページをご覧ください。

